



## 平成29年5月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年3月22日

上場会社名 日本オラクル株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4716 URL <http://www.oracle.com/jp/corporate/investor-relations/index.html>  
 代表者 (役職名) 代表執行役社長 兼 CEO (氏名) 杉原 博茂  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役副社長 兼 CFO (氏名) 野坂 茂 TEL 03-6834-6666  
 四半期報告書提出予定日 平成29年4月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年5月期第3四半期の業績（平成28年6月1日～平成29年2月28日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年5月期第3四半期	123,240	1.0	37,377	2.5	37,292	2.1	25,813	5.9
28年5月期第3四半期	122,047	3.8	36,482	6.5	36,538	6.2	24,383	10.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年5月期第3四半期	202.42	202.03
28年5月期第3四半期	191.55	191.21

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年5月期第3四半期	170,678	94,993	55.3	740.27
28年5月期	223,402	136,227	60.6	1,062.14

(参考) 自己資本 29年5月期第3四半期 94,397百万円 28年5月期 135,386百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年5月期	—	0.00	—	525.00	525.00
29年5月期	—	0.00	—	—	—
29年5月期（予想）	—	—	—	—	—

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
 2. 次期の配当金は未定です。  
 3. 平成28年5月期の配当金は普通配当105円、特別配当420円、合計525円です。

### 3. 平成29年5月期の業績予想（平成28年6月1日～平成29年5月31日）

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高	1株当たり 当期純利益
	%	円
通期	1.0 ～4.0	274.00 ～284.00

- (注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無  
 2. 平成29年5月期の業績予想については、レンジ形式により開示しております。  
 3. 予想実効税率は31.1%です。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年5月期3Q	127,673,471株	28年5月期	127,511,971株
② 期末自己株式数	29年5月期3Q	155,422株	28年5月期	46,521株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年5月期3Q	127,526,569株	28年5月期3Q	127,298,787株

（注）当社は、役員報酬BIP信託および株式付与ESOP信託を導入しております。信託が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。また、当該信託が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日において当社が入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づき策定したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.4「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ① 業績の概要

当第3四半期累計期間(自平成28年6月1日至平成29年2月28日。以下、「当四半期」)においては、日本国内の経済環境は、雇用・所得環境の改善に伴い個人消費は底堅く推移し、緩やかな改善基調にありましたが、海外経済の減速や、英国のEU離脱の決定以降の為替、金利等金融市場の変動や米国の政権移行に伴い、経済活動の先行き不透明感が増しております。

また社会面では、少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少、地域経済の活性化、グローバル対応などの課題に対し、デジタル技術を活用し、社会・コミュニティ・企業・ひとりひとりの生産性の向上を図り、問題解決に取り組んでいくことが重要となっております。

このような事業環境のもと、平成29年5月期は当社にとって「VISION2020:2020年までにNo.1クラウドカンパニーになる」ための3年目にあたり、クラウド事業を加速度的に成長させるための基礎固めの最後の1年と位置付けております。経営ビジョンの実現に向け当社では、「Digital Aid (デジタルエイド) by POCO(The Power of Cloud by Oracle)」をキーワードに、「SaaS/PaaS/IaaS 事業の拡大」、「エンタープライズ営業の強化」、「システム事業の拡大」、「地域ビジネス成長への貢献」を経営方針として事業を推進しております。

特に注力事業であるクラウドについては、営業・マーケティング活動の結果、中堅市場、および流通・サービス分野におけるERP/EPMクラウドや、IaaSである「Oracle Cloud Machine」への引き合いが増えており、クラウド(SaaS/PaaS/IaaS)の第3四半期会計期間の売上高は前年同期比106.5%増、9ヶ月累計期間では107.5%増となり、順調にビジネスを展開しております。

当四半期の経営成績につきましては、売上高123,240百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益37,377百万円(前年同期比2.5%増)、経常利益37,292百万円(前年同期比2.1%増)、四半期純利益25,813百万円(前年同期比5.9%増)となり、第3四半期累計の売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益ともに、過去最高を記録しました。

(注1) SaaS (Software as a Service) : 財務会計や給与・人事管理などのソフトウェアの必要な機能を必要な分だけ、インターネットを経由して提供するサービス。

(注2) PaaS (Platform as a Service) : ITシステムを構築、稼働させるための基盤となるデータベース管理ソフトウェアや、異なるソフトウェア間を円滑に連携させる中間層のソフトウェアを、インターネットを経由して提供するサービス。

(注3) IaaS (Infrastructure as a Service) : ITシステムを構築、稼働させるための基盤(サーバーマシンやストレージなどのハードウェアやネットワークなど)そのものを、インターネットを経由して提供するサービス。

## ② 報告セグメント別の状況

## 【新規ライセンスおよびクラウド(SaaS/PaaS/IaaS)】

売上高は35,111百万円(前年同期比4.6%減)となりました。内訳につきましては、新規ライセンスの売上高は28,804百万円(前年同期比14.7%減)、クラウド(SaaS/PaaS/IaaS)の売上高は6,306百万円(前年同期比107.5%増)となりました。

当セグメントは企業等のIT基盤に利用される、データベース管理ソフトウェア、各種ミドルウェア、ERP等の業務アプリケーションソフトウェアの新規ライセンスを販売する「新規ライセンス」と、これらのソフトウェアやハードウェアのリソースを、インターネットを通じてサービス提供する「クラウド(SaaS/PaaS/IaaS)」から構成されます。

## ＜クラウド(SaaS/PaaS/IaaS)＞

## ・営業・マーケティング

これまでも自社クラウドソリューションを活用し、購入プロセスの迅速化など営業力の強化に取り組んでまいりましたが、中堅・中小市場でのクラウド販売をより強化するための営業組織「Oracle Digital」を発足しました。ソーシャル・メディア、オンラインデモンストレーション、TV会議など最新のデジタルツールを活用し、お客様のクラウド体験を促進することで、当社のクラウド展開を加速する営業改革を進めております。

また、マーケティング活動では、当社のクラウドソリューションおよび、IoT(Internet of Things)、ビッグデータなど最新トレンドをユーザー事例とともにご紹介する「Oracle CloudDays」を、東京、福岡、名古屋、大阪、札幌で開催しました。

## ・製品サービス

SaaSでは、競争力強化を目的としたグローバルの間接購買や統合会計についての需要が増加しております。当社の強みであるグローバルでのプロセス統合ノウハウを活用した提案活動を推進した結果、ERP・EPMクラウドが伸長いたしました。

PaaS/IaaSでは、製造業のIoTソリューション向けに、デバイス・システム連携やデータ処理を支援する当社のPaaS製品や、当社のクラウド環境をお客様のデータセンター内に設置し、お客様のデータセンター内からオラクルのパブリックIaaSおよびPaaSを提供する「Oracle Cloud at Customer」への引き合いが増加しております。

平成28年10月には株式会社NTTデータ様、NTTデータ先端技術株式会社様と「Oracle Cloud at Customer」を活用したハイブリッドクラウド分野での3社協業を発表いたしました。NTTデータグループ内の統合開発環境に組み込むことで開発スピード、コスト生産性を高め、既存の基幹システムとモバイル、IoT、ビッグデータとのハイブリッド連携による新たなビジネス価値の創造を支援してまいります。

また、平成29年2月には日本電気株式会社様（以下、NEC）とクラウド事業の戦略的提携を発表いたしました。「Oracle Cloud at Customer」をNEC様のデータセンター内に設置し、高度なセキュリティ環境からのオラクルのパブリッククラウドの提供と、NEC様による保守サービスを提供することで、お客様の総合的なクラウド活用を支援してまいります。

また、平成28年7月に発表いたしました富士通株式会社様との戦略的提携については、現在サービス開始に向け鋭意準備を進めている段階です。

今後もクラウド関連製品・サービスの拡充、パートナーアライアンスを強化し、新規ユーザーの獲得を強力に推進してまいります。

#### ＜新規ライセンス＞

前年同期の大型案件の反動減の影響がありましたが、より高度なセキュリティと高速処理が求められるパートナー企業様のクラウドサービス基盤や、金融、通信、公共公益の分野でミッションクリティカルなITシステムの基盤統合、競争力強化・顧客接点強化を目的とするデータ利活用基盤として、当社のエンジニアド・システムである「Oracle Exadata」やセキュリティ製品群をご採用いただきました。

#### [アップデート&プロダクト・サポート]

売上高は61,608百万円（前年同期比6.1%増）となりました。

当セグメントは、ライセンスを利用されているお客様に更新版等のアップデートや技術サポートを提供しております。

導入製品や利用環境に応じたプロアクティブ（事前対処的）、かつプリベンティブ（予防的）なサポートを提供する「My Oracle Support」等、製品を利用されているお客様へのサポートの価値訴求や、特にパートナー企業様との協業を推進した結果、新規のサポート契約率、既存のサポート契約の適時更新率がさらに改善しており、堅調に推移いたしました。

#### [ハードウェア・システムズ]

売上高は13,253百万円（前年同期比10.5%減）となりました。

内訳につきましては、ハードウェア・システムズ・プロダクトの売上高は5,618百万円（前年同期比20.4%減）、ハードウェア・システムズ・サポートの売上高は7,635百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

当セグメントは、サーバー、ストレージ、エンジニアド・システム、ネットワーク機器等のハードウェアの販売およびそれらのオペレーティングシステム（OS）や関連ソフトウェアを提供する「ハードウェア・システムズ・プロダクト」、ハードウェア製品の技術サポート、修理、メンテナンスの提供およびOS等関連ソフトウェアの更新版等の提供を行う「ハードウェア・システムズ・サポート」から構成されます。

ハードウェア・システムズ・プロダクトにおいて、前年同期の大型案件の反動減の影響がありました。

#### [サービス]

売上高は13,266百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

当セグメントは、当社製品の導入支援を行う「コンサルティング・サービス」、予防保守サービスやお客様のIT環境の包括的な運用管理サービスを提供する「アドバンストカスタマーサポートサービス」、技術者や利用者向けの研修事業や技術資格の認定事業を提供する「エデュケーション・サービス」から構成されております。

コンサルティング・サービスにおいて、プロジェクト案件が順調に進捗したほか、アドバンストカスタマーサポートサービスの予防保守サービスが「Oracle Exadata Database Machine」向けに引き続き好調に推移しました。

## &lt; 報告セグメント別売上高の状況 &gt;

区分	平成28年5月期 第3四半期		平成29年5月期 第3四半期			平成28年5月期	
	金額	構成比	金額	構成比	対前年 同期比	金額	構成比
	百万円	%	百万円	%	%	百万円	%
新規ライセンス	33,753	27.7	28,804	23.4	△14.7	47,334	27.8
クラウド (SaaS/PaaS/IaaS)	3,039	2.5	6,306	5.1	107.5	4,594	2.7
新規ライセンスおよび クラウド (SaaS/PaaS/IaaS)	36,792	30.1	35,111	28.5	△4.6	51,929	30.5
アップデート&プロダクト・サポート	58,056	47.6	61,608	50.0	6.1	78,170	45.9
ソフトウェアおよびクラウド	94,849	77.7	96,719	78.5	2.0	130,099	76.4
ハードウェア・システムズ・プロダクト	7,057	5.8	5,618	4.6	△20.4	11,930	7.0
ハードウェア・システムズ・サポート	7,750	6.4	7,635	6.2	△1.5	10,317	6.1
ハードウェア・システムズ	14,808	12.1	13,253	10.8	△10.5	22,247	13.1
サービス	12,390	10.2	13,266	10.8	7.1	17,856	10.5
合計	122,047	100.0	123,240	100.0	1.0	170,203	100.0

(注) 金額は単位未満を切り捨て、構成比ならびに対前年同期比は単位未満を四捨五入で表示しております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は170,678百万円(前事業年度末比52,723百万円減)となりました。流動資産は129,520百万円(前事業年度末比53,998百万円減)となりました。

負債は75,684百万円(前事業年度末比11,489百万円減)、純資産は94,993百万円(前事業年度末比41,234百万円減)となりました。これは主に、第31期期末配当として、特別配当420円を含んだ1株当たり525円を支払ったこと等によります。この結果、自己資本比率は55.3%(前事業年度末比5.3ポイントダウン)となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年6月28日に発表いたしました平成29年5月期の業績予想より変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成28年5月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	59,644	19,595
売掛金	19,674	14,962
短期貸付金	100,000	90,300
その他	4,202	4,664
貸倒引当金	△2	△2
流動資産合計	183,519	129,520
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	11,724	11,541
土地	26,057	26,057
その他(純額)	1,303	2,702
有形固定資産合計	39,085	40,301
無形固定資産	5	3
投資その他の資産		
その他	796	854
貸倒引当金	△4	△0
投資その他の資産合計	791	854
固定資産合計	39,883	41,158
資産合計	223,402	170,678
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,514	14,104
未払金	5,832	4,195
未払法人税等	9,195	3,673
前受金	56,527	50,245
賞与引当金	2,001	1,148
その他の引当金	477	327
その他	2,616	1,982
流動負債合計	87,166	75,677
固定負債		
その他	7	7
固定負債合計	7	7
負債合計	87,174	75,684
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	23,209	23,619
資本剰余金	6,560	6,969
利益剰余金	105,836	64,711
自己株式	△221	△903
株主資本合計	135,386	94,397
新株予約権	841	596
純資産合計	136,227	94,993
負債純資産合計	223,402	170,678

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成27年6月1日 至 平成28年2月29日)	当第3四半期累計期間 (自 平成28年6月1日 至 平成29年2月28日)
売上高	122,047	123,240
売上原価	61,451	62,237
売上総利益	60,596	61,002
販売費及び一般管理費	24,113	23,625
営業利益	36,482	37,377
営業外収益		
受取利息	55	8
為替差益	0	—
その他	9	9
営業外収益合計	65	17
営業外費用		
為替差損	—	84
その他	8	17
営業外費用合計	8	102
経常利益	36,538	37,292
特別利益		
新株予約権戻入益	26	165
特別利益合計	26	165
税引前四半期純利益	36,565	37,458
法人税等	12,181	11,644
四半期純利益	24,383	25,813



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成28年7月22日開催の取締役会において決議されていた期末配当(1株当たり525円、うち普通配当105円、特別配当420円)を平成28年8月8日に支払った結果、利益剰余金が66,938百万円減少しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期累計期間(自平成27年6月1日至平成28年2月29日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損 益計算書 計上額 (注) 2
	新規ライセンス およびクラウド (SaaS/P aaS/IaaS)	アップデー ト&プロダ クト・サポ ート	ハードウェ ア・システ ムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	36,792	58,056	14,808	12,390	122,047	—	122,047
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	36,792	58,056	14,808	12,390	122,047	—	122,047
セグメント利益	5,180	30,839	727	3,088	39,835	△3,352	36,482

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,352百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期累計期間(自平成28年6月1日至平成29年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期損 益計算書 計上額 (注) 2
	新規ライセンス およびクラウド (SaaS/P aaS/IaaS)	アップデー ト&プロダ クト・サポ ート	ハードウェ ア・システ ムズ	サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	35,111	61,608	13,253	13,266	123,240	—	123,240
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	35,111	61,608	13,253	13,266	123,240	—	123,240
セグメント利益	3,710	32,781	619	3,417	40,528	△3,151	37,377

(注) 1. セグメント利益の調整額△3,151百万円は、全社費用であります。主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。